

事務事業名		大船渡地区消防組合事務費負担金支出事務		<input type="checkbox"/> 実施計画登載事業 <input type="checkbox"/> 総合戦略登載事業	
政策体系	政策名	05 やすらぎある安全なまちづくりの推進		事業期間	
	施策名	22 防災対策の推進		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始 年度～)	
	基本事業名	05 消防体制の充実		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【計画期間】 年度～ 年度 ※全体計画欄の総投入量を記入	
根拠法令		災害対策基本法		予算科目 会計 款 項 目 事業 01 09 01 01 00	
所属	部課名	総務課		事務事業区分	
	課長名	鈴木昭浩		A 政策事業 B 施設整備	
	係名	行政文書係	電話 0192-27-3111	C 施設管理 D 補助金等	
	担当者	千葉史恵	内線 235	E 一般(A~D以外)	
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)				全体計画(※期間限定複数年度のみ)	
大船渡地区消防組合規約に基づく事務負担金を支出する。				総投入量 (千円) 事業内訳 国庫支出金 都道府県支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 0 人件費 正規職員従事人数 延べ業務時間 人件費計(B) 0 トータルコスト(A)+(B) 0	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標									
① 手段(主な活動)	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)								
前年度実績(前年度に行った主な活動) 火災・風水害等への対応及び救急活動並びに火災等防止活動	<table border="1"> <tr><th>名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>ア 救急出動</td><td>回</td></tr> <tr><td>イ 火災出動</td><td>回</td></tr> <tr><td>ウ 心肺蘇生法講習会受講者</td><td>人</td></tr> </table>	名称	単位	ア 救急出動	回	イ 火災出動	回	ウ 心肺蘇生法講習会受講者	人
名称	単位								
ア 救急出動	回								
イ 火災出動	回								
ウ 心肺蘇生法講習会受講者	人								
今年度計画(今年度に計画している主な活動) 前年度事業内容と同じ	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)								
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等 市民	<table border="1"> <tr><th>名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>カ 市の人口</td><td>人</td></tr> <tr><td>キ</td><td></td></tr> <tr><td>ク</td><td></td></tr> </table>	名称	単位	カ 市の人口	人	キ		ク	
名称	単位								
カ 市の人口	人								
キ									
ク									
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 災害から市民の生命・財産を守るとともに、救急活動による救命活動	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)								
④ 結果(基本事業の意図: 上位の基本事業にどのように貢献するのか) 災害の未然防止、適切な医療を受けるための迅速な救急搬送	<table border="1"> <tr><th>名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>サ 人命の保護</td><td>人</td></tr> <tr><td>シ 財産の保護</td><td>回</td></tr> <tr><td>ス</td><td></td></tr> </table>	名称	単位	サ 人命の保護	人	シ 財産の保護	回	ス	
名称	単位								
サ 人命の保護	人								
シ 財産の保護	回								
ス									

(2) 総事業費・指標等の推移

投入量	事業内訳	単位	年度					
			27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(目標)	30年度(目標)	31年度(目標)	32年度(目標)
事業費	国庫支出金	千円						
	都道府県支出金	千円						
	地方債	千円						
	その他	千円						
	一般財源	千円	620,281	706,642	660,000	660,000	660,000	660,000
	事業費計(A)	千円	620,281	706,642	660,000	660,000	660,000	660,000
人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1	1
	延べ業務時間	時間	5	5	5	5	5	5
	人件費計(B)	千円	20	20	20	20	20	20
	トータルコスト(A)+(B)	千円	620,301	706,662	660,020	660,020	660,020	660,020
⑤活動指標	ア	回	1,653	1,625	1,400	1,400	1,400	1,400
	イ	回	10	16	10	10	10	10
	ウ	人	1,768	2,185	1,000	1,000	1,000	1,000
⑥対象指標	カ	人	38,167	37,633	-	-	-	-
	キ							
	ク							
⑦成果指標	サ	人						
	シ	回						
	ス							

事務事業ID	0023	事務事業名	大船渡地区消防組合事務費負担金支出事務
--------	------	-------	---------------------

**(3) 事務事業の環境変化・住民意見等**

① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？  
 広域消防活動の展開の必要性から。(昭和51年4月1日大船渡地区消防組規約により開始。)

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？  
 平成13年11月に大船渡市と三陸町の合併により構成市が1市2町から1市1町となった。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？  
 特になし

**2 評価の部(SEE) \* 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価**

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつかないか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】 広域消防活動の展開
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】 大船渡市・住田町の全域を活動区域としており、税金の投入は妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】 大船渡市・住田町の全域を活動区域としており、税金の投入は妥当である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 非常備消防のみによっては、消防活動の全体を維持・展開することは困難であり、廃止は考えられない。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】
効率性 評価	⑥ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 事業費の負担については、大船渡地区消防組規約に基づく義務的経費である。
	⑦ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 本業務に係る対応は、必要最低限の業務時間、人件費としており、削減の余地はない。
公平性 評価	⑧ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 1市1町の全域を対象とした活動であり、公平性にかけない。

**3 今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)**

(1) 改革改善の方向性	(2) 改革・改善による期待成果																					
① 現状維持 ② 改革改善(縮小・統合含む) → ③ 終了・廃止・休止	左記(1)の改革改善を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																					
(3) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等 生活環境の多様化、高度化に伴い、複雑化する災害や事故に対応するため、関係機関との連携を図っていくとともに、職員の資質の向上、装備の充実等に努める必要がある。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		●	×																		
	低下		×	×																		

**4 課長等意見**

(1) 今後の方向性	(2) 全体総括・今後の改革改善の内容
① 現状維持 ② 改革改善(縮小・統合含む) ③ 終了・廃止・休止	職員の資質の向上はもとより、関係機関との連携の強化を図るべきである。また、さらなる広域化を検討すべきである。